

# エマージング債券アップデート(現地通貨建て)

情報提供資料 2014年11月17日



## エマージング債券市場(現地通貨建て)のパフォーマンス

円の全面安により  
パフォーマンスは堅調

|               |      | 1週間   | 1ヵ月   | 3ヵ月   | 1年間    |
|---------------|------|-------|-------|-------|--------|
| トータルリターン(円評価) |      | 1.44% | 6.72% | 7.51% | 14.72% |
| (内訳)          | 債券部分 | 0.25% | 0.84% | 2.29% | 8.32%  |
|               | 為替部分 | 1.18% | 5.87% | 5.22% | 6.40%  |

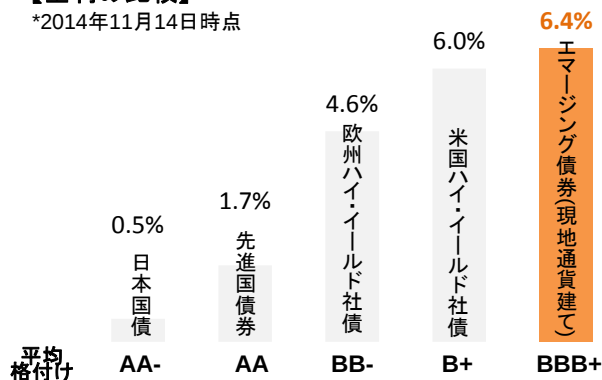
出所:ブルームバーグ 時点:2014年11月14日、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

- 先週(11月10日~11月14日)は、安倍首相による消費増税先送りと早期の解散総選挙との見方が強まったことから、円が全面安の展開となりました。
- この円安の動きに伴い、対円でのエマージング通貨は上昇基調が継続し、円評価のエマージング債券市場(現地通貨建て)は週間で+1.14%の上昇となりました。

## 収益の源泉 ①金利

### 【金利の比較】

\*2014年11月14日時点

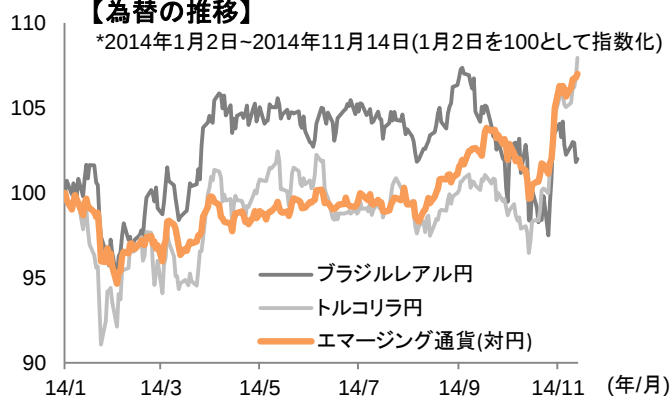


出所:ブルームバーグ エマージング債券(現地通貨建て):JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド、日本国債:シティ日本国債インデックス、先進国債券:JPモルガンGBIグローバル、欧州ハイ・イールド社債:パークレイズ汎欧州ハイ・イールド社債、米国ハイ・イールド社債:パークレイズ米国ハイ・イールド社債、エマージング通貨:JPモルガンELMIプラス(円評価)、ハイ・イールド債金利は最低利回り、それ以外は最終利回りで表示。

## 収益の源泉 ②為替

### 【為替の推移】

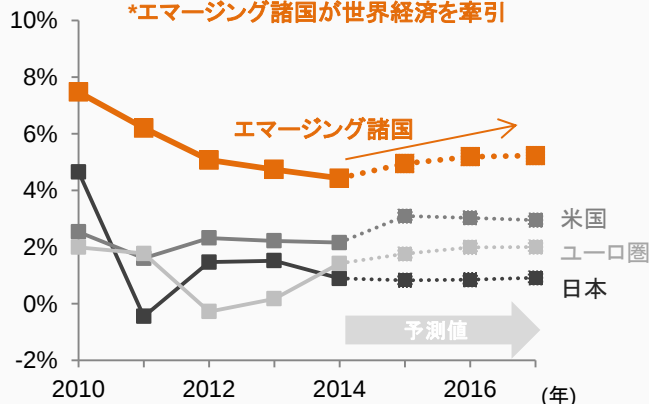
\*2014年1月2日~2014年11月14日(1月2日を100として指数化)



## なぜ今エマージング市場か

### 【GDP成長率推移】

\*エマージング諸国が世界経済を牽引



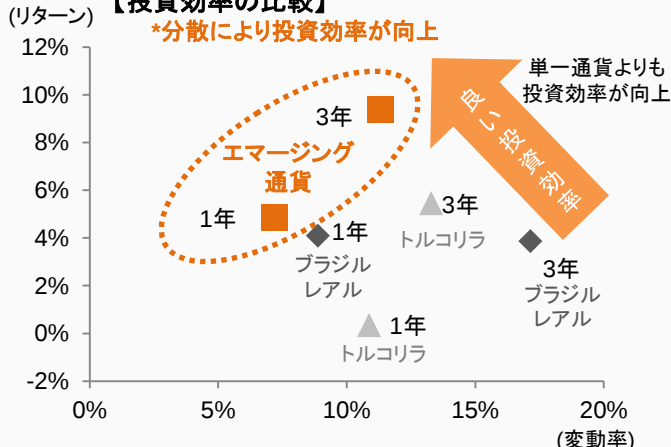
[左図]出所:IMF 時点:2014年10月

[右図]出所:ブルームバーグ エマージング通貨:JPモルガンELMIプラス(円評価、平均利回り控除後)、2014年9月末から過去1年・3年を参照

## なぜエマージング市場への分散投資か

### 【投資効率の比較】

\*分散により投資効率が向上



上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)(が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。 © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <145463.OSF.MED.OTU >